

## 平成24年度 丹後広域振興局 運営目標

地域 振興計画	基本方針	1	産業振興による丹後地域の活性化(丹後地域の活性化を牽引する観光立地)	
	重点施策等	(1)	丹後「日本海観光」プロジェクト (日本海観光構想の実現に向けて)	基本目標
運営目標		1	観光入込客数600万人、宿泊者数110万人を目指して、国際競争力のある魅力ある観光地づくりに取り組みます。	
	小項目		<p>①観光地間競争に勝ち抜くために京都府丹後観光圏の「観光地域づくりプラットフォーム」の強化とともに、丹後広域観光キャンペーン協議会が広域的なプラットフォーム機能を担い、オール丹後体制で、魅力ある観光地づくりを進めます。【新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ー京都市内に来訪されている外国人観光客を丹後地域に誘導するため、市内のホテルを回り丹後地域まで運行する高速バスによるオプショナルツアーを実施します。</li> <li>ーKTRやバス事業者等公共交通機関のほか海上交通など、二次交通を組み合わせたバラエティーに富んだ広域周遊型旅行商品や、京都舞鶴港のクルーズ誘致とも連動した丹後地域を周遊する舞鶴発着プランを造成します。</li> </ul> <p><b>(広域周遊型旅行商品の開発 10商品)</b>【23目標:10商品 → 実績:11商品】</p> <p><b>(着地型旅行商品の参加者 2,000人)</b>【新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ー平成26年の丹後国建国1300年や細川ガラシャ生誕450年にちなみ、細川ガラシャや細川家にまつわるスポットめぐりなどをテーマとした観光アプリを構築し、スマートフォンを活用した新たな旅の提案を行い、観光誘客を図ります。</li> <li>また、NHK大河ドラマ誘致推進協議会との連携のもと、大河ドラマの誘致をめざします。</li> <li>ー丹後地域の幅広い事業者との連携により京都「丹後・食の王国」マルシェを開催し、丹後あじわいの郷を「食」と「観光」が効果的に融合する拠点として機能強化し、観光誘客を促進します。</li> </ul> <p><b>(年間来園者数 12万人)</b>【新規】【23実績:107,832人】</p>	
			②NEXCO西日本と連携して高速道路の周遊割引や、ガソリン代のキックバック等地域での特典をセットしたプランを造成し、丹後地域への誘客を図ります。	
			③KTRと連携して、舞鶴宮津間や宮津京丹後間等の往復切符を組み合わせた旅行商品を造成し、観光誘客を図ります。	
			④自転車で丹後地域をめぐる「TANTANロングライド」を実施し、ニューツーリズムの推進による誘客につなげます。	
			⑤散策ルートの設定やジオサイトの案内看板整備をはじめ、関係機関との連携のもと、環境教育旅行の誘致やKTRを活用した観光ツアーなど、ジオパークへの誘客を推進 <b>(ジオパークへの誘客 200万人)</b>	
		2	メディア等を活用し「ふるさと丹後」を発信します。	
小項目			<p>①国内誘客最大のマーケットである首都圏にターゲットを絞り、戦略的な情報発信を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ーテレビや雑誌媒体等を活用して、丹後の魅力を発信します。</li> </ul> <p><b>(テレビ、ラジオ、雑誌媒体等による情報発信 120回(内首都圏向け40回))</b></p> <p>【23:目標100回 → 実績:124回(内全国、首都圏向け13回)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ーソーシャルネットワークサービス(facebook等)を活用した情報発信を行い、丹後ファンを増やします。【新規】</li> </ul>	
			<p>②地域活性化包括連携協定によりNEXCO西日本と連携し、舞鶴若狭自動車道の西紀SA等において、丹後の食材を使用したメニューやおみやげ品販売、観光PRなど「食」をはじめとした丹後の魅力を発信するフェアを開催し、誘客につなげます。</p> <p>また、観光客の利便性の向上を図るため、丹後地域の「道の駅」(6箇所)が連携した取り組みを支援します。</p>	

	<b>3 多様な顧客ニーズに対応した接客サービスを充実します。</b>
	<p>小項目</p> <p>①インバウンドを推進するため、京都府観光連盟等と連携して実践型の受入体制の整備を進めます。  - 銀聯カード加盟店舗の拡大や、外国語会話のできる人材確保の取り組みを支援【新規】  - 観光事業者向けのインバウンド人材育成セミナーの実施(5回)【新規】</p> <p>②「北京都丹後ふるさと検定」の実施を通じて、おもてなし人材(語り部…観光口コミ大使)の掘り起こしとスキルアップを図ります。  (受検者数 150人)【23:目標150人 → 実績 悪天候のため中止】</p>
	<b>4 丹後半島一周道路等観光誘客を促進する道路の整備を推進します。</b>
	<p>小項目</p> <p>①大型バスでの観光を促進する国道178号の整備推進  - 蒲入バイパスのトンネル工事発注、里波見工区の用地買収着手  - 宮津市日置～長江、伊根町蒲入～京丹後市丹後町袖志間などの法面防災工事の促進  (24目標 3箇所発注(うち新規1箇所)、2箇所完成)</p> <p>②「丹後・食の王国」プロジェクトの拠点施設である「丹後あじわいの郷」への観光アクセスの向上  - 府道網野岩滝線の整備促進(鳥取～木橋工区の工事完成、久住工区の促進)</p> <p>③鳥取豊岡宮津自動車道大宮森本IC(仮称)～間人間の観光アクセスの向上  - 国道482号丹後弥栄道路の整備促進</p>
	<b>5 畜産体験と丹後半島の海と山・高原等の観光資源が一体となった碓高原牧場を活用します。</b>
	<p>小項目</p> <p>①府民に親しまれる憩いの牧場づくりのため、牧草地など牧場景観の一層の向上と新たな観光資源(地域住民との協働によるラベンダー畑の整備、遊歩道や展望場所の活用等)の開発と積極的な情報発信による観光客の増加を目指します。</p> <p>②家畜防疫に配慮しつつ、放牧牛やふれあい家畜の生態展示を取り入れた幼稚園、小学生等の学習見学や小中高生の畜産体験学習の受入れを行います。</p>

地域 振興計画	基本方針	1	産業振興による丹後地域の活性化(丹後地域の活性化を牽引する観光立地)	
	重点施策等	(2)	「丹後・食の王国」プロジェクト (丹後・食の王国構想の実現に向けて)	基本目標
小 項 目	6	ブランド京野菜等の出荷額3.8億円を目指すとともに、丹後産コシヒカリの特A評価を連続して取得するなど、丹後の強みをいかした産品を増強します。		
	①	丹後ブランド産品の生産拡大 <ul style="list-style-type: none"> <li>養殖トリガイ(「丹後とり貝」)の販売額 120百万円(府全体)【23年目標:7,500万円→実績:7,700万円】  丹後地域(栗田・宮津・久美浜湾、久美浜地区ブランド認定により倍増を目指す)24百万円【23年目標:1,000万円→実績:930万円】</li> <li>養殖イワガキの販売額 18百万円(府全体)【23年目標:1,400万円→実績:1,690万円】</li> <li>アマダイ生産流通マニュアルに基づく漁獲物の取扱方法の徹底と産地の拡大により、「丹後ぐじ」の生産を拡大 出荷量10トン【新規】</li> <li>みず菜、九条ねぎなどブランド京野菜等の出荷額の増  (年間出荷額 <b>3.8億円</b>)【23目標:3.8億円 → 実績:2.87億円】</li> </ul>		
	②	良食味生産技術の普及による丹後産コシヒカリの特A評価を連続取得し、通算10回を達成 (良食味共励会の出品者数 <b>100以上</b> )【新規】 (栽培管理の徹底等を図るタイムリーなメール情報の発信( <b>20回</b> ))【23目標:20回 → 実績:21回】		
	③	「京力農場づくり」を推進し、ブランド京野菜等の競争力のある生産体制を強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>健康志向により需要増傾向のトマト(丹後地域推進品目)出荷額の増  (年間出荷額 <b>1.1億円</b>)【新規】【23実績:1.04億円】</li> <li>生産者所得安定とブランド力強化に向けて、新たな流通形態である『予約相対取引』を推進  (みず菜出荷額 <b>54百万円</b>、九条ねぎ出荷額 <b>15百万円</b>)【新規】【23実績:みず菜49.6百万円、九条ねぎ13.9百万円】</li> <li>丹後の主力農産物の生産体制の強化  (みず菜 <b>22.3ha</b>、九条ねぎ <b>6.3ha</b>、黒大豆枝豆 <b>13.4ha</b>、トマト <b>6.4ha</b>)【新規】  【23実績:みず菜 21.7ha、九条ねぎ 6.1ha、黒大豆枝豆 12.1ha、トマト 6.0ha】  (京たんご梨ブランド出荷率 <b>25%</b>)【23目標:25% → 実績:23%】</li> </ul>		
	④	丹後の主力農産物新規栽培者の拡大 <ul style="list-style-type: none"> <li>丹後地域特産物育成協議会における3カ年目標(H22～24)に基づき、各作物4名以上の新規栽培者を拡大  (みず菜<b>4名</b>、黒大豆枝豆<b>4名</b>、九条ネギ<b>4名</b>、小ギク<b>4名</b>)  【23目標:みず菜4名、黒大豆枝豆4名、九条ネギ4名、小ギク4名 → 実績:みず菜4名、黒大豆枝豆2名、九条ネギ11名、小ギク7名】</li> </ul>		
	⑤	茶産地基盤確立のため優良茶園を整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>新規植栽(<b>2.7ha</b>[総茶園面積<b>47.3ha</b>→<b>50ha</b>])【23目標:2.7ha→実績0ha】</li> <li>丹後産宇治茶産地の確立に向けた収益性向上(荒茶量×単価)(モデル茶園<b>10a</b>当たり粗収益額 <b>20万円</b>)【新規】  【23実績:14万円/10a】</li> </ul>		
	⑥	国営農地でのタバコの品目転換 <ul style="list-style-type: none"> <li>葉たばこに代わる新たな導入品目の選定(実証ほの設置 <b>4品目</b>)【新規】</li> <li>収益性の高い品目(短形ゴボウ)の推進 (栽培面積拡大 <b>1ha</b>)【新規】</li> </ul>		

運営目標

7	<p><b>丹後の特色をいかした新たな食材の開発や食関連ビジネスを創出します。</b></p>
小項目	<p>①食関連ビジネスの拡大のため食品関連企業の参入を支援<b>(1件以上)</b>【新規】</p> <p>②丹後ビジネス支援会議(仮称)を設立し、多様な取引先とのビジネスを推進【新規】          ーバイヤーを招き地元企業等が販路開拓するための大商談会を開催  <b>(丹後地域からの出展30団体、商談成立10件)</b>【23目標:1回→実績1回、丹後地域からの出展12団体、商談成立4件】          ー流通業者の交流会(茶、薦池大納言)、ホテルでのフェアなどを通じて地域外への食の売り込みを推進<b>(商談成立3件)</b>【新規】</p> <p>③丹後あじわいの郷に情報交換・事業者交流の場としてビジネスサロンを設置し、異業種交流(観環農商工連携)や6次産業化など農業経営の多角化を支援【新規】          ー異業種交流の取組 <b>(10連携体)</b>【23目標:10連携体 → 実績:10連携体】          ー経営の多角化に取組む農業法人等<b>(4経営体)</b>【23目標:3経営体→実績:4経営体】※23年度は6次産業化のみ</p> <p>④食関連の人材育成のため、府立海洋高校生が丹後の食材を活用した料理メニューを提供する「高校生レストラン」の開設を支援【新規】</p> <p>⑤「織物」、「食」、「観光」など丹後の魅力満載の『京都・丹後のたからもの展(仮称)』(来秋阪神地域の大型商業施設で開催予定)の成功に向けて、地元でイベントを開催するなど礎づくりを進めます。【新規】</p>
8	<p><b>観光との連携、販路開拓やPR等の取り組みを推進します。</b></p>
	<p>①高校生など次代を担う若者等の参画のもと、ポスト国文祭事業「丹後・食の王国 食と文化の祭典(仮称)」を体験型イベントとして実施【新規】</p> <p>②丹後の魅力ある「食」と連携し、高速道路のサービスエリアや由良川パーキングエリアにおいて観光PRを実施          (NEXCOと連携して、京都「丹後・食の王国」フェアをサービスエリアで実施 <b>3カ所・2シーズン</b>)【新規】</p> <p>③鹿・猪肉の安定供給を推進するため、市町と連携し、鹿・猪肉料理販売店舗数を増やし販路の拡大を支援<b>(新規提供 8店舗)</b>【新規】</p> <p>④新たに開発した「おみやげ品」をはじめ地域の商品のビジネスチャンスを創出し販路開拓を支援          ー首都圏で開催の地方銀行フードセレクションへの出展等による販売促進を支援<b>(3回)</b>【23実績:1回】          ー商工団体等と連携し、地域内の道の駅など販売施設とのビジネスマッチングを行い販路拡大を支援          ー中国など海外での展示会出展や、フィリピン航空機内食採用に向けた売込みなど、販路開拓をめざした新たな取組を行う企業を支援</p> <p>⑤京都市内のホテルで丹後地域の食材による料理フェアを開催【23目標:1回→実績1回】</p> <p>⑥23年産「特A」獲得丹後産コシヒカリを愛称を含めPRしブランディングを推進          (消費者交流や府北部地域・大学連携機構等との連携による<b>PR活動広報 5件</b>)【新規】【23実績:4件】</p> <p>⑦丹後産茶の6次産業化推進による経営強化、知名度向上に向けたPR活動の展開  <b>(売上高 300万円)</b>【新規】(飲食業者との新規取引 1件)【新規】</p> <p>⑧インターネットを活用し丹後産品の魅力のPR、情報発信力を強化          (ウェブ販売サイトに「丹後・食の王国」サイトを開設)【新規】</p>

	9	丹後あじわいの郷の年間来園者数12万人を確保するとともに、京都「丹後・食の王国」の拠点として機能充実します。
	小項目	①丹後地域の幅広い事業者との連携により京都「丹後・食の王国」マルシェを開催し、丹後あじわいの郷を「食」と「観光」が効果的に融合する拠点として機能強化(再掲) (年間来園者数 12万人)【新規】【23実績:107,832人】
		②丹後あじわいの郷に情報交換・事業者交流の場としてビジネスサロンを設置し、異業種交流(観環農商工連携)や6次産業化など農業経営の多角化を支援【新規】(再掲) —異業種交流の取組 (10連携体)【23目標:10連携体 → 実績:10連携体】 —経営の多角化に取組む農業法人等(4経営体)【23目標:3経営体→実績:4経営体】※23年度は6次産業化のみ
		③丹後の食材や郷土料理を活用した丹後らしい特色あるメニュー「丹後あじわい食」を積極的に発信 (取組に参加する事業者数 30事業体)【新規】【23実績:春の丹後ばらずし月間25事業者】
10	和牛振興基地をめざした牧場づくり(和牛生産基地である淀高原牧場における和牛子牛の生産拡大)を推進します。	
小項目	①和牛受精卵(胚)のPR(供胚牛紹介)や受精卵移植未実施農家での利用を進め、受精卵の供給を図るとともに和牛妊娠牛譲渡を実施します。 (受精卵譲渡目標300個)【23目標:300個→実績:152個】 (和牛妊娠牛譲渡目標10頭)【23目標:10頭→実績:3頭】	
	②優良受精卵供給増のため優良和牛繁殖雌牛の導入と遺伝的能力の高い子牛の安定供給を図ります。 (優良和牛雌牛導入8頭以上)【H23目標:8頭→実績:9頭】 (子牛出荷50頭、生産頭数55頭、妊娠頭数60頭)【H23目標:子牛出荷50頭、生産頭数55頭、妊娠頭数60頭→実績:49頭、50頭、55頭】	

地域 振興計画	基本方針	1	産業振興による丹後地域の活性化(丹後地域の活性化を牽引する観光立地)	
	重点施策等	(3)	「食」を支える基盤づくり	基本目標
		11	新たに就農者を30名、漁業就業者を35名確保するなど、担い手の確保育成等を支援します。	
	小 項 目	①	新規就農者を育成するため農業法人の担い手インキュベーション機能の強化を支援 (新規就農希望者の研修を行う法人数 6法人)【23目標:5法人→実績:5法人】	
		②	集落型農業法人の経営安定を図り、京野菜部門の売上アップを支援 (京野菜部門の売上が増加した法人数2社)【23目標:2社 → 実績:2社】	
		③	若手農業者の経営能力向上を支援 (経営能力セミナーの開催 2回)【23目標:2回 → 実績:4回】	
		④	国営開発農地への参入法人の支援 (法人との連絡会議 7回)【23実績:7回】 (技術濃密指導 10回)【23実績:9回】	
		⑤	新規就農希望者等の農業基礎知識習得 (農業基礎講座開催回数 7回)【23目標:7回 → 実績:7回】	
		⑥	農林水産業を支える多様な担い手を確保育成 (新規就農者 30名)【23目標30名 → 実績:31名】	
		⑦	漁業就業研修の実施等により、定置網漁業、底びき網漁業等への漁業就業者を確保 35名(府全体)【新規】【23年実績35名】	



運営目標	12	<b>野生鳥獣被害の半減を目指してシカを3,000頭捕獲するなど、有害鳥獣被害対策を推進します。</b>
	小項目	<p>①地域ぐるみで取り組む防除対策支援により、野生鳥獣の被害を26年度に半減(H21年:198百万円比)します。</p> <p>－シカ、イノシシなどの防除対策として広域防護柵の設置を支援するとともに、地域ぐるみの維持管理を定着させるための普及活動実施 <b>(防護柵設置集落 60集落)</b>【23目標:設置60箇所 → 実績:89箇所】</p> <p>－発信器を装着したサル<sup>①</sup>の行動を把握し、群毎に1カ所重点追払い集落を設定。併せて1群については大量捕獲による個体数調整実施 <b>(サル被害防除重点指導集落の設定 5集落)</b>【新規】(群れの個体数調整 1群)【新規】</p> <p>－鳥獣を里に寄せ付けないための緩衝帯(バッファゾーン)の点検整備 <b>(緩衝帯整備地区を訪問し点検整備 10箇所)</b>【23目標:整備5箇所、13ha → 実績: 8箇所、16ha】</p>
		<p>②新規狩猟免許取得者を拡大し、有害鳥獣の安定的な捕獲体制を維持・強化</p> <p>－新規狩猟免許取得者を拡大し、有害鳥獣の安定的な捕獲体制を維持・強化 <b>(新規免許取得者数 20名)</b>【23目標: 20人 → 実績: 22】 <b>(講習会開催 1回)</b>【23目標: 1回 → 実績: 1回】</p>
		<p>③シカの生息数削減のため捕獲の推進<b>(狩猟・有害による捕獲頭数 シカ3,000頭)</b>【新規】【23実績見込:2,430頭】</p>
		<p>④有害鳥獣捕獲の支援</p> <p>－複数の猟友会の連携による広域捕獲の推進 <b>(兵庫県と連携した広域捕獲 2回、丹後地域内一斉捕獲 2回)</b> 【23目標:兵庫県連携広域捕獲 2回 → 実績:2回】【23目標:管内猟友会連携広域捕獲2回 → 実績:1回】</p>
13	<b>環境にやさしい農業を推進します。</b>	
小項目	<p>①地域をあげた環境にやさしい農業推進 <b>(エコファーマー取得者数 総数260人)</b>【新規】(23実績 総数250人) <b>(コウノトリも育む生物多様性フォーラム開催 1回)</b>【新規】(23実績 0回) <b>(コウノトリも育む生物多様性水稻展示ほ 1カ所)</b>【新規】(23実績 0カ所)</p>	

地域 振興計画	基本方針	2	産業振興による丹後地域の活性化(ものづくり産業等地域産業の振興)	
	重点施策等	(1)	中小企業へのステップアップ支援	基本目標
運営目標	小 項 目	14	新たな雇用を創出するため、新規求人者数7,000人を目指すとともに、求人・求職のマッチング機会を増強し、総合的な中小企業支援・サポート体制の整備を推進します。	
			<p>①商工会議所、商工会等との連携による中小企業者の経営課題や企業の実態に応じたサポートを行います。  (中小企業応援隊による事業所相談件数 延3,800回)【23目標延3,500回 → 実績延3,734回】</p>	
			<p>②各種支援策を活用して、新規創業やイノベーションを図る事業者の成長を支援します。  (支援事業採択件数 40件)【23目標20件 → 実績31件】</p>	
			<p>③府や市町、労使が参画する「地域雇用創出活力会議」を設置して、オール丹後体制でソーシャルビジネスによる新たな雇用創出や丹後地域の実情に即した戦略的な雇用創出事業を展開します。【新規】</p> <p>－丹後地域の雇用・就業に係る課題を的確に捉え、その課題の解決につながる事業を企画、立案し、実施します。</p> <p>－介護福祉分野や観光産業等の求人と求職のミスマッチの解消を図るため、ハローワークや京都ジョブパーク北部サテライト等と連携し、就職面接会等を開催し、就業支援を行います。  (就職面接会の実施 3回)【23実績:3回】</p> <p>－事業所訪問を行い、新たな求人を開拓します。  (事業所訪問による求人開拓者数20人)【23実績:15人】</p>	
			<p>④丹後Uターンセンターにおいて、U・Iターン就職を支援します。  (情報提供件数 3,600件)【23目標2,000件 → 実績:3,492件】  (U・Iターン就職者数 75人)【23目標:50人 → 実績:71人】</p>	
	<p>⑤介護・福祉人材確保対策を推進します。</p> <p>－京都ジョブパーク北部サテライトと連携した即戦力となる新規福祉人材の養成、就職セミナー、施設見学会の開催による介護・福祉人材の確保 や、小・中高生等に対し福祉職場への理解を促進する取組による将来の福祉の担い手の育成</p> <p>－人材育成・定着システム導入促進事業を活用して、介護・福祉事業所の主体的なキャリアアップ等人材定着のための取組を支援</p>			



地域 振興計画	基本方針	2	産業振興による丹後地域の活性化(ものづくり産業等地域産業の振興)	
	重点施策等	(2)	「丹後・知恵のものづくりパーク」における人材育成と施設有効活用	基本目標
運営目標	小項目	15	「丹後・知恵のものづくりパーク」における人材育成と施設の有効活用を推進します。	
		①	丹後機業の後継者を <u>10人以上育成</u> (新規就労者及び勤続10年以内の従業員を対象)【23目標:10人以上→実績:19人】	
		②	機械金属業の試作・設計・開発力を兼ね備えた高度機械加工技術者を <u>20人以上養成し試作開発を支援</u> (中堅技術者を対象)【23目標:15人以上→実績:24人】	
		③	織物、機械金属の技術相談を通じた在職者の人材育成 <u>延べ5,000人</u> 【23目標:延べ5,000人→実績:4,878人】	
		④	(公財)京都産業21や業界団体と連携し、さらに企業ニーズをきめ細かく把握しながら各種研修会、講習会を実施 <u>受講者延べ3,500人以上</u> 【23目標:延べ3,500人以上→実績:延べ2,329人(21年度に比べ若干の景況回復により零細事業所の受講者が減少)】	
		⑤	技能検定のための受験対策講座を <u>10回開催</u> 【23目標:10回→実績:9回】	

地域 振興計画	基本方針	2	産業振興による丹後地域の活性化(ものづくり産業等地域産業の振興)	
	重点施策等	(3)	丹後ちりめん等織物業の振興	基本目標
運営目標	小項目	16	丹後織物のブランド力の向上とビジネスモデルを推進します。	
		①	丹後ブランドの新たな展開を図るためのものづくり支援と企業育成 － <u>新規企業3機業を含めた33機業以上で、丹後オリジナルの和・洋装素材による新商品開発を実施</u> 【23目標:5グループ30機業以上→実績:6グループ実数30機業】	
		②	丹後ブランドの販路拡大とビジネスモデル構築に向けた、大消費地等での展示商談会を <u>16回以上開催</u> 【23目標:展示商談会10回→実績:16回】	
		③	「織物」、「食」、「観光」など丹後の魅力満載の『京都・丹後のたからもの展(仮称)』(来秋阪神地域の大型商業施設で開催予定)の成功に向けて、地元でプレイベントを開催するなど礎づくりを進めます。【新規】(再掲)	

地域 振興計画	基本方針	3	環境と文化の伝承	
	重点施策等	(1)	丹後ならではの自然環境・文化を活かし、守り育てる	基本目標
運営目標	17	ジオパークへの誘客200万人を目指して、日本海観光プロジェクトや丹後・食の王国プロジェクトと連携し、世界ジオパークネットワーク「山陰海岸ジオパーク」を丹後地域の新たな魅力として発信します。		
	小項目	<p>①散策ルートの設定やジオサイトの案内看板整備をはじめ、関係機関との連携のもと、環境教育旅行の誘致やKTRを活用した観光ツアーなど、ジオパークへの誘客を推進(ジオパークへの誘客 200万人)(再掲)</p> <p>②国内外のジオパークや大学等の研究機関との交流を推進し、ジオパークの資源を活用し「丹後・食の王国プロジェクト」と連携した新たなビジネスモデルを構築</p> <p>③ジオパークの効果的な活用方法等について検討する地域連携による協議体を構築し、ジオサイトの維持管理やエコツアーの実施など、地域団体や住民が主体となった取組を推進</p> <p>④ジオパーク内の公園施設の整備(国立・国定公園内の休憩施設等の整備推進) -「散策モデルコースの整備」(近畿自然歩道(夕日ヶ浦)の休憩施設の設計着手、近畿自然歩道(立岩付近)の遊歩道整備着手等)</p>		
	18	天橋立の世界文化遺産をめざした取組と阿蘇海等の閉鎖性水域の環境改善を推進します。		
	小項目	<p>①世界遺産条約締結40周年記念会議等の機会を活用した積極的なPR活動の展開</p> <p>②天橋立の海岸部の浸食対策を図り、美しい海岸線を保全(サンドバイパス・サンドリサイクル工法)(V=4500m<sup>3</sup>)</p> <p>③阿蘇海の環境改善に資するシーブルー事業[浅い海底を覆砂]の推進(面積4,500m<sup>2</sup>)[23目標4,500m<sup>2</sup>→実績6,700m<sup>2</sup>]</p> <p>④行政と地域が一体となった松並木保全や海岸の清掃(天橋立まもり隊などの活動延べ人数4,000人)[23目標:4,000人→実績:3,974人]</p> <p>⑤阿蘇海等の閉鎖性水域の環境改善(アマモ場造成技術の開発、アサリ養殖の実証試験と実用化)</p>		
	19	森林の公益的機能確保と府民ぐるみの取組を推進します。		
	小項目	<p>①多くの府民の参加を得るための講演会等を開催し、地域の森林を地域全体で守り育てるモデルフォレスト運動の取組を推進します。 (参加人員 1,000人)[新規](推進地区 7地区(海岸林の整備3地区(掛津、箱石、袖志)、人工林の整備1地区(大江山)、竹林拡大防止1地区(男山)、広葉樹の整備1地区(大江山)、地域の銘木保全1地区(太鼓山))【23目標6地区→実績5地区】</p>		
	20	丹後の優れた自然環境や生活環境を守り、安心して生活できる地域づくりを進めます。		
	小項目	<p>①漂着ごみの回収・適正処理を実施し、良好な海水浴場及び景勝地である海岸地域を保全 (10箇所以上、管内)[23目標:10箇所→23実績:16箇所] -海岸及び河川流域の不法投棄防止パトロールを実施</p> <p>②市町及び保健所広報誌での不法投棄防止啓発を積極的に行うとともに、監視/パトロールでの早期発見、迅速かつ厳正な対処に努め、産業廃棄物の不法投棄・不適正焼却・不適正処理を根絶します。</p>		

地域 振興計画	基本方針	3	環境と文化の伝承
	重点施策等	(2)	地域文化の伝承 <b>基本目標</b>
運営目標		21	ポスト国文祭関連事業への総参加者数3万人を目指し、国民文化祭で育んだ絆を更に強く結び、丹後が誇る「食」と「文化」を次代へつなぎます。
	小項目		①「文化振興プラットフォーム」を形成し、府民グループや文化関係団体等の交流・連携を図り、丹後文化会館を拠点とする新たな活動や発表の機会を創出
			②高校生など次代を担う若者等の参画のもとで、ポスト国文祭事業「丹後・食の王国 食と文化の祭典(仮称)」を体験型イベントとして実施(再掲)
		③市町や各種団体が行う伝統行祭事や文化関連イベント等をポスト国文祭関連事業と位置付け、「丹後文化絵巻」として一体的に広報するなど開催を支援 <b>(関連イベントの総参加者:30,000人)</b> 【新規】	

地域 振興計画	基本方針	4	府民が共にいきいきと安心して暮らせるまちづくり(人々が交流・連携する地域共生)
	重点施策等	(1)	人権の尊重、地域力再生・NPOとの協働 <b>基本目標</b>
運営目標		22	まちの仕事人によるコーディネートや地域主導型公共事業等を活用し、地域活動団体をはじめとする住民や大学との協働体制のもとで、新たな丹後地域を創造します。
	小項目		①地域住民や市町村等の地域のまちづくり提案の実現を図るため、まちの仕事人によるコーディネートや地域主導型公共事業、事業協定型事業等を活用し、府民協働によるまちづくりを推進 <b>(事業地域 5地域)</b> 【新規】
			②地域に密着した身近な安心・安全の向上を図るため、府民公募型安心・安全整備事業を推進
			③協働コーディネーター等による団体間連携や地域力再生プロジェクト支援事業による支援等を促進し、地域力再生団体の活動基盤を強化 <b>(支援団体数 延べ150団体)</b> 【23年度 102団体】
		④京都府北部地域・大学連携機構が取り組むバリアフリー観光や自転車を活用したエコ観光、地域コトおこし実践者講座等を協働して進めています。	

地域 振興計画	基本方針	4	府民が共にいきいきと安心して暮らせるまちづくり(人々が交流・連携する地域共生)	
	重点施策等	(2)	命の里の再生とふるさと保全活動	基本目標
運営目標		23	里力再生計画の実現に向けた活動を支援します。	
	小項目		<b>①</b> 里力再生計画を策定し、生活環境基盤の整備や地域特産物の開発などの取り組みを行う地区数 <b>(14地区)</b> [宮津市世屋、日ヶ谷、上宮津、日置、京丹後市大宮町五十河、丹後町宇川、久美浜町神野、弥栄町野間、伊根町本庄・筒川、与謝野町滝・金屋、24年度新規は京丹後市(公募2地区)、与謝野町桑飼、伊根町朝妻)]【23目標:10地区 → 実績:10地区】	
			<b>②</b> 高齢化の進む地域で、市町や社会福祉協議会等と連携して、セーフティネットとしての独居老人の見守りなどの健康福祉活動を支援 <b>(3地区)</b> 【23目標:2地区 → 実績:3地区】	
			<b>③</b> 過疎地域の定住対策として、共に育む「命の里」事業セカンドステージで取り組む所得の向上、雇用の創出に繋がる特産品販売や都市農村交流などの農村ビジネスを支援 <b>(5地区)</b> 【新規】	
			<b>④</b> 消防署からの遠隔地域で、消防団や市町と連携して、災害時の救助や傷病者などへの救急救助体制を確立する『ふるさとレスキュー』の取組を支援 <b>(2地区)</b> 【新規】	
	24	地域住民自らが描く村の将来像の実現に向けた活動を支援します。		
小項目		<b>①</b> 人と資源を最大限に活用した地域オリジナルの「一村一業活動」を展開する明日の「京都村」づくりの取り組みを支援 <b>(2地区)</b> 【新規】		

地域 振興計画	基本方針	4	府民が共にいきいきと安心して暮らせるまちづくり(人々が交流・連携する地域共生)	
	重点施策等	(3)	より利用しやすい公共交通ネットワークの実現及び道路網や情報通信基盤など基盤整備の推進	基本目標
運営目標		25	市町や関係機関と連携した地域住民の活動支援等により、KTR年間利用者数210万人を確保します。	
	小項目		<b>①</b> 「地域版チームKTR」の提案や北部地域総合公共交通検討会の議論を踏まえて、丹後の食材による駅弁や駅の愛称募集をはじめ、鉄道ファンを対象としたイベントなどを実施	
			<b>②</b> 観光地としての「おもてなし」の心をもって、KTR花の鉄道づくりと連携した花壇整備や地域性を出した魅力ある駅舎づくりなど地域一体となった取組を実施 <b>(整備支援 3駅)</b>	
			<b>③</b> KTRを支える沿線市町と連携して、サポーターズクラブ会員、フラワーオーナー会員、トレインオーナー <b>年間10,000人を獲得</b> 【23実績:サポーターズクラブ2,510人、トレインオーナー1,850人、フラワーオーナー2,974人 計7,334人】	

地域 振興計画	基本方針	5	府民が共にいきいきと安心して暮らせるまちづくり	
	重点施策等	(1)	保健医療	基本目標
運営目標		26	地域の保健医療体制の整備を支援します。	
	小項目		①丹後地域保健医療協議会の開催や事例研究等を進め、地域の医療、福祉関係者間の効果的な連携体制を構築	
			②地域医療再生基金を活用した診療所等の医療機器の高度化、病院の共同利用機器の整備等により、地域の医療体制の充実を支援	
		27	府立与謝の海病院の京都府立医科大学の附属化を推進します。	
	小項目		①丹後医療圏における一層の医療の充実と、丹後の基幹病院である京都府立与謝の海病院の機能の充実を図るため、平成25年4月に京都府立医科大学附属病院として開設します。【新規】	
		28	府立与謝の海病院の計画的な運営に取り組み、さらに府民から信頼される病院づくりを推進します。	
小項目		①「府立病院3箇年運営目標」(H22～H24)に基づき、与謝の海病院では、丹後医療圏における急性期医療や高度医療の拠点施設として専門医療体制の充実を図るとともに、地域医療支援病院として、更なる地域医療機関に対する貢献を目指します。		
		②丹後医療圏における急性期医療や高度医療の拠点施設として、地域住民の多様な医療需要に対応できるよう積極的に取り組むとともに、丹後医療圏の地域医療支援病院として、地域の病院・診療所等と連携し、圏域全体の医療基盤の充実を図るために、診療支援や共同利用型電子カルテを活用した医療機器等の地域共同利用を積極的に行います。 <u>(地域医療機関との連携強化による紹介率の向上 80%)</u> 【23目標:80%→実績見込み77%】 <u>(地域の医療機関への診療機器の共同利用の推進 1,100件)</u> 【23目標:1,000件→実績980件】		
		③病院設置の経営戦略会議において毎月の患者動向を分析し、良質な医療サービス提供体制の方策、地域医療機関との連携・協働のあり方、効果的な病院経営、地域のニーズに対応した医療の提供に取り組み、病院の収入不足を補う一般会計からの繰入減少に努めます。 <u>(経常収支比率 96.6%)</u> 【23目標:94.5%→今後算出(参考:22:95.0%)】 <u>(病床利用率 90.6%)</u> 【23目標 87.6%→実績86.1%】		



	<p><b>29 がん検診の受診率50%を目指すなど、「たんご健康長寿日本一」を推進します。</b></p>
小項目	<p>①がんの予防と早期発見・早期治療を進めるために、市町が実施する胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、子宮がん検診の<b>受診率50%を目標に、受診率の低い市町の受診率を30%以上に向上</b>させます。      ー 検診受診率の低い市町を重点的に、キャンペーン、出前講座等による啓発を実施(<b>目標 5回</b>)するとともに、当該市町に対し地域へ出向いての未受診者への再通知等きめ細かい受診勧奨を行うよう支援。      ー 「がん対策推進部会」の参画団体や地域職域団体(企業等)と協働し、健康フォーラムや受動喫煙防止等がん予防の啓発、健康出前等にての府民参加型の啓発を強化し、検診受診行動に向けた気運を醸成します。<b>(目標 健康出前等 10団体)</b>      ー 「健康だより」を発行し、がん予防等の啓発を実施します。<b>(年3回発行)</b></p> <p>②住み慣れた地域でいきいきと暮らしていくための地域リハビリテーションの充実強化を進めます。      ー 宮津与謝地域での地域リハビリテーション支援体制の強化に向け、地域包括支援センター等との連携を強化するとともに、地域課題に応じた検討会等を開催し、体制づくりへの支援を行います。<b>(介護支援専門員等からの相談ケース 目標25件、関係者の検討会4回)</b>      ー 丹後地域のリハビリテーションセンターの自立的かつ円滑な活動に向け、圏域連絡会の開催やセンター内会議への参画、協働事業を実施し、活動を支援します。<b>(圏域連絡会1回、会議への参画6回、協働事業1回)</b>      ー 地域リハビリテーション支援センターと連携しながら、地域リハビリや介護に従事する職員への対応力の向上を目指します。<b>(研修会3回)</b></p>
	<p><b>30 食品の安心安全の取組を推進し、府民の健康を守ります。</b></p>
小項目	<p>①食中毒予防等のため府内に流通する食品の検査を行い、府民の健康被害を未然に防止します。      ・残留農薬、細菌検査に加え新たに放射性物質検査を重点的に実施。  <b>(府全体750検体(うち丹後80検体分担(放射性物質検査16検体を含む))【23目標:府全体750検体(うち丹後103検体分担)→23実績:府全体750検体(うち丹後103検体分担)、放射性物質検査未実施】</b></p> <p>②合同食品表示パトロールにより、適正な食品表示と安全な食品提供を指導します。  <b>(立入検査件数 30件)【23目標:30件→実績:30件】</b></p>
	<p><b>31 家畜伝染病防疫対策を徹底し、府民生活の安心安全を高い水準で確保します。</b></p>
小項目	<p>①農家の飼養衛生管理状況の点検・指導を徹底し、農家の飼養衛生管理水準を向上させ、家畜伝染病を未然に防止  <b>(偶蹄類飼養農家(37戸)飼養衛生管理指導年1回)【23年目標:1回→実績:1回】</b>  <b>(養鶏農家(千羽以上6戸)飼養衛生管理指導年4回)【23年目標:4回→実績:4回】</b>  <b>(自家用家さん飼養者(千羽未満117戸)飼養衛生管理指導1回)【23年度目標:全飼養者1回→実績:全飼養者1回】</b></p> <p>②農場への鳥インフルエンザウイルス侵入監視を徹底  <b>(サーベイランス実施回数 年4回(全養鶏農家6戸))【23年目標:4回→実績:4回】</b>  <b>(モニタリング実施農家数 3農家/月)【23年目標:3農家毎月→実績:3農家毎月】</b></p> <p>③家畜伝染病の発生状況や動向、対策等、予防・まん延防止のために必要な情報を農家等に提供  <b>(衛生情報の発行36回以上)【23目標:24回以上→実績:42回】</b></p>



地域 振興計画	基本方針	5	府民が共にいきいきと安心して暮らせるまちづくり	
	重点施策等	(2)	高齢者、障害者及び子育ての支援	基本目標
運営目標		32	高齢者が安心して地域で生活できる地域包括ケア体制を構築します。	
	小項目		①地域包括ケアの推進体制の推進 －在宅で安心して生活するためのサービスを一体的に提供できるよう、地域包括支援センターの事業、活動を支援します。 －市町が行う認知症の方やその家族を地域で支援する体制づくりを支援します。	
			②各市町での徘徊搜索模擬訓練の拡大を支援(3箇所)	
			③介護保険サービス提供基盤の整備を支援します。 －特別養護老人ホームの整備支援(2箇所) －市町村が整備する地域密着型介護施設の整備支援(3箇所)	
		33	障害者の自立と社会参加を支援します	
	小項目		①障害者就業・生活支援センターを中心に、関係団体、市町と連携し、障害者の就労と定着を支援します。(圏域での就職人数20人以上)	
			②ほっとはあと製品の開発、販売の促進と工賃アップを支援します。	
		34	健やかに子どもが育つ支援体制を充実します。	
	小項目		①発達障害児とその親への支援体制を充実させます。 －特別支援学校や親の会、ペアレントメンター等の関係者のネットワークを立ち上げ、地域全体で発達障害児等とその親を支える地域づくりを進めます。 －障害のある子とその親の孤立化を防ぐため、親の交流会等を開催し、精神的負担の軽減を図ります。(参加目標 対象者の5割)	
			②医療処置の必要な重症な子どもに対し、医療機関や保育、療育、教育機関等と連携し健やかな成長を支援します。 －在宅で療養中の重症患児が適切なりハビリや療育が受けられる体制づくりを進めます。(連携会議 3回)	
		③安心して子育てができる環境づくり・丹後地域子育て支援ネットワークを中心として、子育て中の親、子育て支援団体と連携、協働した取組を実施し、子育てに関するニーズに対応できる地域づくりを推進します。		
		④病後児保育の新規開設を支援します。		

地域 振興計画	基本方針	5	府民が共にいきいきと安心して暮らせるまちづくり	
	重点施策等	(3)	自殺のないまちづくり	基本目標
運営目標		35	自殺のサインを見逃さない地域づくりを推進し、自殺者数を昨年より減少させます。	
		小項目	①丹後管内自殺対策連絡会を拡大、各市町、関係機関と連携したオール丹後の体制で管内での自殺者数を昨年より減少させます。 - 大学・臨床心理士会による実態調査、気軽に立ち寄りお茶などを飲みながら弱音を吐ける居場所づくり等のモデル事業の実施 - 出前語らい、出講、ゲートキーパー研修、相談機関研修等の実施により、うつ、認知症、自殺予防についての理解を拡大 - ネットワークを活用した、効果的な広報・啓発、相談会の実施	

地域 振興計画	基本方針	5	府民が共にいきいきと安心して暮らせるまちづくり(府民安心のまちづくり)	
	重点施策等	(4)	安心安全な消費生活の実現	基本目標
運営目標		36	行政、地域団体や消費者団体が連携した安心な地域づくりを推進します。	
		小項目	①消費者被害の未然防止や早期解決、困難な相談事例にも迅速に対応します。 (「消費者あんしんチーム」による相談事例検討会の開催 24回)【23目標24回 → 実績24回】	
		小項目	②丹後地域くらしの安心・安全ネットワーク関係団体の連携を密にし、多発する高齢者被害への迅速な対応や、情報共有を図ることで問題解決を促進し、安心・安全な地域づくりに取り組みます。	
		37	自立した消費者の育成に努めます。	
小項目	①消費者意識の向上を図るための消費生活学習グループ等の研修会や学習活動支援と、被害の低年齢化への啓発のために小・中・高での消費者教育を教育機関との連携により進めます。 (出前語らい、研修会、セミナーの開催 25回)【23目標20回 → 25回】			

地域 振興計画	基本方針	5	府民が共にいきいきと安心して暮らせるまちづくり(府民安心のまちづくり)	
	重点施策等	(5)	安心安全のまちづくり (河川整備、土砂災害対策等)	基本目標
運営目標		38	市町の地域防災計画の見直しを積極的に支援します。	
	小項目		①管内市町の地域防災計画の見直しを積極的に支援し、大規模災害時等の迅速な対応力を向上	
		39	治水対策を推進します。	
	小項目		①近年浸水被害が頻発している河川の改修整備の推進 －野田川支川岩屋川(全体800mの内520m完成)、加悦奥川(全体1,050mの内120m完成)、福田川(全体2,400mの内1,100m概成、浅茂川橋に着手)、新庄川(全体2,700mの内1,100m完成、大田橋完成)の整備促進、小西川(全体540mの内30m)の新規着手	
		40	総合的な土砂災害対策等を推進します。	
	小項目		①砂防事業、急傾斜事業、治山事業の推進 －土砂災害の発生若しくは恐れがある11箇所(砂防事業)の推進(内1箇所完了、2箇所工事着手) －平成23年度に台風で大きく被害を受けた地区(山地・溪流)における治山事業による重点的な復旧工事推進 平成23年度台風被害額 343,400千円 → 復旧額127,000千円(3年間で復旧予定) (復旧工事推進箇所 7箇所 内 復旧完了箇所 2箇所)【23目標:復旧9箇所 → 実績:復旧3箇所】 －崖崩れの発生若しくは恐れがある8箇所(急傾斜事業)の推進(内2箇所完了、1箇所工事着手)	
			②土砂災害警戒区域等を新たに350箇所指定(指定箇所数 1,631箇所)【23目標:300箇所 → 実績:334箇所】	
		41	災害と雪に強い道路ネットワークを整備します。	
	小項目		①橋梁耐震性を向上する工事の推進 －国道178号:不動橋及び甲山橋の耐震補強推進(不動橋完了) －一次緊急輸送路以外の橋梁(50m以上)の耐震補強推進(13橋のうち、1橋推進、1橋完了) ②冬場の幹線道路の安全性を向上させる工事の推進 －国道312号:三重工区の用地買収着手、野中工区の用地調査着手 －府道浜丹後線(中山工区)の災害復旧工事及びスノーシェルター工事の完成 －府道網野岩滝線(堀越工区)の雪崩防止柵の設計着手	
		42	建築物の安心・安全を確保します。	
小項目		①大規模地震に備えた住宅の耐震対策の推進 －簡易型改修の管内全市町での制度化を推進し、府・市町が緊密な連携をとり、診断済家屋に対して、個別に新制度について周知するなど、木造住宅耐震改修(補助)の促進を図る。 (管内市町で簡易型耐震改修を含め50戸) －一般府民向けに、市町及び建築関係団体との協働による民間木造住宅等の耐震対策の普及や啓発を目的として耐震フェア開催		